

2028 年度版および 2029 年度版秋田県立大学 大学案内パンフレット等制作業務委託仕様書

1. 委託業務名

2028 年度版および 2029 年度版秋田県立大学 大学案内パンフレット等制作業務

2. 業務目的

本業務は、高校生やその保護者、高校関係者に対して、秋田県立大学の特色・魅力を強くアピールすると共に、市民や企業に本学の活動を紹介するため、各種パンフレット及びポスターの制作業務を委託するものである。

3. 業務内容

各種パンフレット及びポスターを制作する。この制作とは、パンフレット及びポスターの企画・立案、ディレクション、コピー、取材、写真撮影、イラストレーション作成、レイアウト、カンパ作成、データ作成など、印刷の原稿を作成するまでに必要な全ての作業、PDF化作業並びに印刷製本業務を意味する。一連の業務は、秋田県立大学と密に協議し進めることとする。なお、2028 年度のデザイン・構成等を基本とし、2029 年度は表紙、取材対象者の写真、各種テキストデータの更新を原則とする。ただし、学内事情等により、各制作回において一部ページのデザイン、構成、レイアウト等の変更が生じることを予め了承すること。

4. 委託期間及び納入期限

(1) 委託期間 契約の日から令和 10 年 6 月 30 日(金)まで

(2) 各年度の納入期限

【2028 年度版】 令和 9 年 6 月 30 日(水)

【2029 年度版】 令和 10 年 6 月 30 日(金)

5. 制作物及び制作部数

各年度につき、以下の部数を制作する。

| | |
|--------------------|----------|
| (1) 大学案内パンフレット | 10,000 部 |
| (2) 大学PRポスター(B1 版) | 50 部 |
| 大学PRポスター(B2 版) | 50 部 |

6. 業務仕様等

(1) 業務仕様

パンフレット及びポスターの業務仕様については、別表 1 のとおりとする。

(2) 成果物

パンフレット、ポスターのPDFファイル、パンフレット掲載用として撮影した写真及び動画(パンフレット未掲載のものを含む)・地図等を加工可能な状態にして収録したDVD-R等メディア2枚を納品すること。

7. 権利の帰属

- (1) 本業務における成果物の著作権、原版、およびDTPデータ等の所有権は、すべて公立大学法人秋田県立大学に帰属するものである。
- (2) 受託者は本学が上記6の電子データの一部を活用し資料・広告等を作成することを承諾すること。また、制作したデザイン、キャッチコピー等は、今後の制作も使用する場合があることを予め承諾すること。

8. その他

- (1) 受託者は委託契約に基づき、常に委託者と密接な連絡をとりその指示に従うこと。
- (2) 受託者は委託者と協議の上、最終デザインを決定するものとする。
- (3) この業務に関わる必要経費は全て受託費の範囲内で処理すること。
- (4) 受託者は必要に応じて業務の一部を再委託できるものとし、その場合は、事前に委託者あて協議し、同意を得ること。
- (5) 受託者は本業務(再委託をした場合を含む)を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、目的外の利用、第三者に開示、漏洩することを禁ず。また、契約終了後も同様とする。
- (6) 受託者は本業務(再委託をした場合を含む)を履行する上で、著作権、肖像権や個人情報を取り扱う場合は、関係法令等を遵守すること。
- (7) 素材収集(写真撮影・動画撮影・ストックフォト(有料・無料すべて)等)については、原則として受託者が行うこととする。本学で保有する素材については、必要に応じて提供する。
- (8) 使用する動画・写真及びデザイン等については、既存作品等からの盗用は行わないこと。
- (9) 広告掲載は不可とする。
- (10) この仕様書に定めのない事項については、委託者と協議の上決定する。

9. 納品場所

- (1) 秋田県立大学秋田キャンパス(秋田市下新城野字街道端西241-438)
 - (2) 秋田県立大学本荘キャンパス(由利本荘市土谷字海老ノ口84-4)
- ※完成品を別に指定する部数に分けて上記納品場所に納品すること。

10. 予算額

14,260,000 円(消費税及び地方消費税を含む)

【2028年度版】 7,380,000 円

【2029年度版】 6,880,000 円

※上記予算額は現時点での見込みであり、今後、予算編成の状況により変更する場合がある。

なお、予算額に変更が生じた場合は、速やかにその旨連絡する。

大学PRポスター制作内容

大学PRポスターには、以下の情報を必ず掲載すること。

秋田キャンパス

○本部・生物資源科学部 ○大学院／生物資源科学研究科
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西 241-438 TEL. 018-872-1500

本荘キャンパス

○システム科学技術学部 ○大学院／システム科学技術研究科
〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4 TEL. 0184-27-2000

大潟キャンパス

○生物資源科学部（アグリビジネス学科3・4年次）
〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村南 2-2 TEL. 0185-45-2026

アグリイノベーション教育研究センター

〒010-0451 秋田県南秋田郡大潟村字大潟 6-5 TEL. 0185-45-2858

能代キャンパス

〒016-0876 秋田県能代市海詠坂 11-1 TEL. 0185-52-6900

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

E-mail koho_akita@akita-pu.ac.jp

ロゴマーク



QRコード

大学ウェブサイト



空撮映像

秋田キャンパス・大潟キャンパス



本荘キャンパス



木材高度加工研究所



【各種パンフレット及びポスター業務仕様(仕様書6(1)別表)】

| 区分 | 制作部数 | | 基本コンセプト | 基本仕様 | 制作内容(予定) | その他 |
|-------------------|---------|---------|--|--|--|---|
| | 2028年度版 | 2029年度版 | | | | |
| (1) 大学案内パンフレット | 10,000部 | 10,000部 | <p>○大学案内パンフレットは、高校生やその保護者及び高校教員等に対して、教育・研究・学生の活動等を紹介する最も重要なツールの一つであることを踏まえ、学生募集に効果的と思われる独創的なアイデアが盛り込まれたものとする。</p> <p>○2028年度版のテーマは「Evolve」もしくは「Toward your Dream」、2029年度版は「Go Beyond」とする。テーマにあった魅力的な提案を行うこと。</p> <p>○特にメインターゲットである高校生に対して、本学の基本理念を軸に、本学の特長・強みを可視化し強くアピールする工夫をすること。</p> <p>○本学の人材育成目標(別添資料を参照のこと)のイメージを重ね、学生が成長していくイメージと快活な学生生活が伝わるような紙面づくりを目指すこと。</p> <p>○紙面は分かりやすく親しみやすい紙面づくりを目指すこと。本学の品格を感じさせつつも、硬いイメージにならないように工夫すること。</p> <p>○パンフレットとWEBとを連動させるなど、臨場感溢れるパンフレット構成とすること。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードから本学ウェブサイト内の必要なページへ誘導 ・QRコードから動画コンテンツの配信 ・AR(拡張現実)、やVR(仮想現実)による配信 など <p>○詳細は、採択された企画提案を基に、本学と協議のうえ調整を進めること。</p> | <p>・A4版全4色本文128ページ程度とし、必要に応じてモノクロ表現も可とする。</p> <p>・文字組(特に本文)については、横組を標準とし、必要に応じて縦組も可とする。</p> <p>・表紙および裏表紙については、写真、イラストレーション、タイポグラフィなどキャッチーな表現であること。</p> <p>・本制作に係る写真撮影(卒業生への取材は除く)は各制作回につき概ね16日程度、場所は大学とする。</p> <p>・本学卒業生への取材・原稿作成、写真撮影は各年度につき最大9件を予定、場所は県内企業とする。</p> | <p>現行のパンフレットの構成を基本とし、次の内容を含んだものとするが、基本コンセプトを訴求するため独創的でユニークな企画提案をすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念、沿革 ・学長メッセージ ・学部改組 ・本学の特長 ・学部・学科の説明 ・学生自主研究紹介 ・教員紹介・研究室紹介 ・キャンパス施設紹介 ・卒業生メッセージ ・在学生メッセージ ・入試進路・就職・学生生活情報 ・大学院紹介 ・その他、本学の魅力を伝えるコンテンツ | <p>○2028年度のデザイン・構成等を基本とし、2029年度版は表紙、取材対象者の写真、各種テキストデータの更新を原則とする。ただし、学内事情等により、各制作回において一部ページのデザイン、構成、レイアウト等の変更が生じることを予め了承すること。</p> <p>○2028年度版から学部・学科構成が2学部8学科(生物生産科学科およびアグリビジネス学科を統合し、アグリノベーション学科(仮称)を新設)に変更、また両研究科を横断する教育プログラムとして「未来グリーン・デジタルサイエンス学環」が新設されるため、構成や台割案作成時には十分注意すること。</p> <p>○新学科に関する情報は、プロポーザル実施時点では詳細を公表できない可能性があるため、アグリノベーション学科(仮称)は農業系に属する学科を想定して検討すること。</p> |
| (2) 大学PRポスター(B1版) | 50部 | 50部 | <p>(1)大学案内パンフレットの基本コンセプトと整合しつつ、秋田県立大学の知名度の向上、ブランドイメージの定着を図るインパクトのあるデザインとすること。</p> <p>(2)2028年度版と2029年度版で異なるデザインとすること。</p> | <p>B1版4色、B2版4色。紙質はコート紙135kg程度もしくはデザイン等に応じて特殊紙とする。主な掲示場所は県内各市町村、県内高校、県内主要施設、秋田駅ほぼろ一ど構内を想定のほか、本学が主催する県内外の行事等でも掲示する。</p> | <p>使用する写真やイラストの指定は無いが、一部文字とロゴマーク(データは本学が提供)、QRコードの指定がある。</p> | <p>○2028年度版から学部・学科構成が2学部8学科(生物生産科学科およびアグリビジネス学科を統合し、アグリノベーション学科(仮称)を新設)に変更、また両研究科を横断する教育プログラムとして「未来グリーン・デジタルサイエンス学環」が新設されるため、デザイン制作時には十分注意すること。</p> |
| 大学PRポスター(B2版) | 50部 | 50部 | | | | |



システム科学技術学部

「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考※注）により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指している。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

※注） システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいう。

求める学生像

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

【機械工学科】

- ①機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人
- ②ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人

【知能メカトロニクス学科】

- ①数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人
- ②メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人

【情報工学科】

- ①数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人
- ②情報工学に関心を持ち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意を有する人
- ③自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人

【建築環境システム学科】

- ①基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人
- ②建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人



【経営システム工学科】

- ①経営工学を理解するのに必要な数学および科学全般の基礎学力を有する人
- ②社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人
- ③リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人

高等学校段階での修得が望ましい教科と内容

1. 理科

物理基礎、化学基礎に加え、少なくとも物理または化学のいずれかを履修していることが望ましい。特に、機械工学科、知能メカトロニクス学科、情報工学科、建築環境システム学科の4学科では、物理を履修していることが望ましい。

2. 数学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cに加え、数学Ⅲを履修していることが望ましい。

3. 英語

平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力を有していることが望ましい。

4. その他

他の教科・科目については、コミュニケーションのために十分な国語力と、技術者として社会の持続的発展に資するための地理、歴史、公民に関する基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。

入学者選抜の基本方針

システム科学技術学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを選抜区分毎に多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、入学者を選抜する。

【一般選抜（前期日程）】

大学入学共通テストにより基礎学力を評価し、個別学力検査により科学や工学の専門的知識を修得するために必要な学力を評価する。また、調査書により高等学校等での主体性のある活動や態度などを評価する。

【一般選抜（後期日程）】

大学入学共通テストにより基礎学力を評価し、小論文により問題解決に取り組む資質や論理的な思考力、表現力を評価する。また、調査書により高等学校等での主体性のある活動や態度などを評価する。

【総合型選抜】

プレゼンテーションにより科学や工学に関連する分野の課題解決に取り組む意欲、表現力、主体性、協働力を評価する。また、面接（口頭試問を含む。）により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、思考力・判断力、協働力、基礎学力などを評価する。

【学校推薦型選抜指定校推薦】

調査書および推薦書により高等学校等での主体的な学びに対する態度・姿勢、基礎学力を評価する。また、面接により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、主体性、協働力などを評価する。

【学校推薦型選抜推薦選抜Ⅰ】

小論文によりものづくり・ことづくり（付加価値の創出）に関する基礎的知識、思考力・判断力、表現力を評価する。また、面接（口頭試問を含む。）により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、主体性、協働力、基礎学力などを評価する。

【学校推薦型選抜推薦選抜Ⅱ】

小論文によりものづくり・ことづくり（付加価値の創出）に関する基礎的知識、思考力・判断力、表現力を評価する。また、面接（口頭試問を含む。）により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、主体性、協働力、基礎学力などを評価する。



生物資源科学部

「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）

生物資源科学部では、生物資源に関する先端科学や技術、考え方を修得し、的確なコミュニケーション能力を身につけて、問題を発見し解決するために考え行動できる人材の育成を目指す。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

求める学生像

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

【応用生物科学科】

- ①生命科学や食品・醸造の専門知識と技術を学ぶために必要な生物と化学の基礎学力を有する人
- ②専門分野の知識や能力を高めることに対して、積極的かつ意欲的に取り組むことができる人

【生物生産科学科】

- ①植物を中心とする生命現象を理解するのに必要な生物と化学の基礎学力を有する人
- ②植物とその生産に関心があり、専門的知識を身につける意欲を有する人

【生物環境科学科】

- ①身の回りの自然環境に関心を持ち、フィールドの中で学び、行動することができる人
- ②自然科学に関する基礎知識を持ち、自然への深い関心と探究心を有する人
- ③自然と人間が共存できる新たな技術開発や社会システムの構築に意欲を有する人

【アグリビジネス学科】

- ①生産から消費までの知識・技術やアグリビジネスに対して高い学修意欲と知的探究心を有する人
- ②次代の農業・農村および食産業の発展を図ることに熱意を有する人

高等学校段階での修得が望ましい教科と内容

1. 理科

生物基礎および化学基礎の知識を有していること。加えて、少なくとも生物または化学のいずれかを履修していることが望ましい。

2. 英語

平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力に加え、身近な情報や自分の意見を英語で伝えられる能力を有していることが望ましい。

3. 数学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cを履修していることが望ましい。

4. その他

他の教科・科目については基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。

入学者選抜の基本方針

生物資源科学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを選抜区分毎に多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、入学者を選抜する。

【一般選抜（前期日程）】

大学入学共通テストにより基礎学力を評価し、個別学力検査により科学の専門的知識を修得するために必要な学力を評価する。また、調査書により高等学校等での主体性のある活動や態度などを評価する。

【一般選抜（後期日程）】

大学入学共通テストにより基礎学力を評価し、小論文により問題発見能力や論理的な思考力、表現力を評価する。また、調査書により高等学校等での主体性のある活動や態度などを評価する。

【総合型選抜】

プレゼンテーションにより生物・農業・環境に関連する分野の課題解決に取り組む意欲や、表現力、主体性、協働力を評価し、総合問題により思考力・判断力、基礎学力を評価する。また、面接により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、思考力・判断力、協働力などを評価する。

【学校推薦型選抜指定校推薦】

調査書および推薦書により高等学校等での主体的な学びに対する態度・姿勢、基礎学力を評価する。また、面接により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、主体性、協働力などを評価する。

【学校推薦型選抜推薦選抜Ⅰ】

小論文により生物・農業・環境に関連する基礎的知識、思考力・判断力、表現力を評価する。また、面接（口頭試問を含む。）により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、主体性、協働力、基礎学力などを評価する。

【学校推薦型選抜推薦選抜Ⅱ】

小論文により生物・農業・環境に関連する基礎的知識、思考力・判断力、表現力を評価する。また、面接（口頭試問を含む。）により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、主体性、協働力、基礎学力などを評価する。

[このサイトについて](#) | [サイトマップ](#) | [著作権について](#) | [個人情報の取扱い](#)
[セキュリティポリシー](#) | [研究活動の不正防止の取組](#)